

整形外科 人工股関節置換術を受けられる					様				
イベント	入院前日まで	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1～3日目	手術後4～9日目	手術後10日目	手術11～21日目	退院日
月 日	月 日		月	日					月 日
到達目標	手術に向けて不安が軽減できる			手術後に起こる苦痛が最小限になる		自立度に応じた日常生活を行うことができる			退院後の生活がイメージできる
治療薬剤	・手術日当日の薬は、手術に影響するため医師の指示に従ってください。 	・持参した薬は、薬剤師に預けて下さい ・預けた薬は、薬剤師が確認します ・確認した薬は、看護師がお返しします ・薬の内服は医師の指示によります ・弾性ストッキングの説明とサイズを測定します。洗い替えの購入をお願いします。	・医師から指示された薬のみ使用します 	・手術した足は 脱臼予防 のため 股間枕 で固定します ・両足に弾性ストッキング、血栓予防の装置を着着します ・手術した足には、たまった血液を出す管が入ります ・痛み止めの点滴を3日間続けます	【医師の指示・状態により行います】 ・術後 1 日目より1週間、血栓予防の薬を内服します ・薬剤師もしくは看護師から薬の説明があります ・手術後 2 日目に、足の血液の管を抜きます ・弾性ストッキングは歩行できるまで毎日履き替えます ・血栓予防の装置は夜間のみ装着します 	・主治医または回診で傷のガーゼ交換をします ・定期的に、傷の状態を確認し、汚れている場合は交換します	・医師が足の傷を確認し、絆創膏を除去します	・歩行できるようになったら弾性ストッキング・血栓予防装置は終了です ・ 退院 又はリハビリ病院への 転院 に向けて医師から説明があります	【 薬剤師 】 ・薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります 
処置検査	・爪は短く切ってください【 入院日までに準備して下さい 】 □現在使用中の薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため）	・指定された時間までに、患者支援センターにお越し下さい。 *付き添いの方も一緒に来院して下さい	・手術着に着替えてください。その後 点滴 をします。 	・手術後に採血・レントゲンがあります。 ・心電図・酸素モニター、酸素マスクを着着します	・手術翌日の朝に酸素・モニターが終了します ・手術後 1・3 日目に、採血をします ・手術後 3 日目まで 点滴 を行います 	・手術後 7 日目に採血とレントゲンがあります	・手術 10 日目にCTがあります	・手術後 14 日目に採血とレントゲンがあります	
リハビリ	□入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） □入院案内 □書類 □その他 □ 座布団2枚	【 理学療法士から 】 ・股関節の動きや筋力など手術前の状態を評価します			【 理学療法士 】 ・手術後1日目からベッド上で関節の運動や座位練習を開始します ・手術後2日目に足の血液の管が抜けたら車椅子へ移乗を開始します。体重の1/2まで荷重が許可され立位や平行棒での歩行練習を開始します	・手術後 7 日目に全荷重が許可されます。痛みに応じて歩行器や杖で歩行練習をおこないます ・自主トレーニングの方法を指導します	・自宅退院に向け階段など自宅環境に応じた動作を練習します ・ 脱臼に注意 した日常生活動作の方法を練習します		
活動安静度		・病棟の中でのみ、歩行は自由です。 	・手術後はベッド上安静です ・定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します ・横を向く時は、ナースコールで看護師を呼んでください。 	・自身で動く許可があるまでは、看護師の介助が必要です ・車椅子に移乗する時は、内股にならように足の間に座布団枕を挟んで移動します ・術後 7 日目、日中は股間枕から座布団枕になります。座布団枕を挟んで横向きの練習をします	・術後 14 日目、終日座布団枕になります 				
食事		・手術時間により欠食・水分制限の指示があります。 	・ 手術後の水分開始時間 は医師の指示により看護師が説明します。それまではお待ちください	【 管理栄養士 】 ・手術翌日から食事を開始します ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します ・食事の選択ができます（医師の指示や食種・アレルギーによっては選択ができないものもあります）		・食事は、退院時の医師の指示に従ってください			
清潔		・手術開始時間により、シャワーが使用できます	・午後後の手術の場合、午前中にシャワーに入ります 	・午前中に体拭きをします	・週1回平日に洗髪・足浴をします ・午前中に体拭きをします	・医師の許可によりシャワー浴が開始となります			
排泄		・排便がなければ、午前手術の場合前日、午後の場合当日の朝に浣腸をします	・緊急入院の場合は、痛みの程度により手術前に尿管を入れることがあります。	・手術室で尿管を入れます	・手術後 2 日目で車椅子移乗ができれば、尿管を抜きトイレで排泄します ・それまではベッド上での排泄になります	・痛み・リハビリの状況によりトイレで排泄できます			
看護	手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます			手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう看護します		自立度に応じて日常生活の援助をしていきます		退院又はリハビリ転院に向けて支援していきます	
患者さん・ご家族への説明	・ご不明な点は、お電話ください ・病院代表 0568-76-4131 ・患者支援センター 	【 医師から 】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【 看護師から 】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます ・病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します	・付き添いの方は、手術終了まで病室またはディルームでお待ちください ・術後2日目での来棟が困難なご家族の場合はDVDの視聴をしていただくことがあります 【 医師から 】 ★手術直後の説明は主治医よりあります ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます	【 看護師から 】 ・手術後2日目に、ご家族と「日常生活動作について」のDVDを視聴します ・リハビリ転院が決まった場合、前日までに着替えの持参をお願いします。 	【 医師から 】 ★ご希望や、必要に応じて、経過の説明をいたします 【 看護師から 】 ・ご希望や、日常生活に応じて説明をいたします ・必要により退院調整看護師がお話を聞きます 	【 看護師から 】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります ・退院は午前 11 時までになります。転院の場合は転院先から時間指定があります。転院に必要な書類をお渡しします。 ・クランクが請求書を届けます ★病室内点検の後退院となります			
患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。						患者パス改訂：2021年6月		小牧市民病院	